

令和2年度使用
岡山市立小学校教科用図書
採択理由

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：国語 種目：国語

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
2 東書	全	新しい国語	秋田 喜代美 ほか107名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 巻頭に学習の進め方や言葉の力が示され、子どもに寄り添った構成で主体性を育むことができるように工夫されている。
- 各単元の学習で重点的に身に付ける力が、「相手や目的を考えて手紙を書く」「理由や事例を挙げて書く」等の「言葉の力」として示され、学年を通して力が積み上がっていくように工夫されている。
- 「国語のノートの作り方」や「一年間の学習に生かそう」等で、何をどのように学ぶのかが分かりやすく示されている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：国語 種目：書写

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
116 日文	全	小学書写	池田 利広 萱 のりこ ほか19名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 学習過程が「考える」「確かめる」「いかす」の3段階で分かりやすく示され、流れに沿って学習することで、基礎基本の定着につながるようになっている。
- なぜ書写を学ぶのかという書写学習の意義が明確に示されている。
- とめる、はらう等の筆使いがていねいに示され、視覚的にも分かりやすい構成になっている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：社会 種目：社会

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
2 東書	3～6	新しい社会	北 俊夫 ほか100名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 社会科の学び方の基礎基本となる、問題解決的な学び方が身に付くように「つかむ」「調べる」「まとめる」過程が分かりやすく示されている。
- 単元の学習後に「ひろげる」のコーナーが設けられ、学んだことを広げたり、応用したりできるようになっている。
- 「宣伝シール」「4コマまんが」等、発達段階に応じた多様な活動が提示され、児童の興味関心を高めるように工夫されている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：社会 種目：地図

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
46 帝国	3～6	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	帝国書院編集部 代表者 鈴木 啓之 ほか10名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 世界の情勢や日常生活と地図を結び付けたり、「地図マスターへの道」を取り入れたりする等、児童の主体的な学習を促す工夫がされている。
- 地震や火山、水害等様々な自然災害に関する内容が取り上げられたり、実際の防災の取組及びハザードマップ作りが取り上げられたりする等、災害や防災に関する内容が充実している。
- 「日本の領土とそのまわり」では、日本固有の領土が日本の領域の中に含まれていることが分かりやすく明記されている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：算数 種目：算数

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
61 啓林館	全	わくわく 算数	清水 静海 根上 生也 寺垣内 政一 矢部 敏昭 ほか120名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 「わくわく算数広場」や「広がる算数」では、算数と実生活との関わりや算数を学ぶ意義について触れられている。
- どのように考えたり確かめたりすればよいのかという学習のプロセスが視覚的に示され、分かりやすくなっている。
- 第1学年の導入では、児童の日常生活や学校生活の場面と数や数字を対応させる活動が、段階を追っていねいに取り上げられている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：理科 種目：理科

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
2 東書	3～6	新しい理科	毛利 衛 大島 まり ほか101名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」という学習の進め方が明確で分かりやすくなっている。
- 写真が大きく分かりやすいものになっており、児童が課題を発見しやすくなっている。
- 理科の見方・考え方を働かせることができるよう、比較、関係付け、条件制御、多面的に考えることについて、「理科のミカタ」「学んだことを使おう」の中で具体的に示されている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：生活 種目：生活

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
2 東書	1・2	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下	田村 学 奈須 正裕 吉田 豊香 ほか82名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 就学前とのつながりが大切にされており、遊びや身近な生活から学習に向かうことができるようになっている。
- 「きれいにさいてね」では、変形判ページが使われ、楽しく植物の成長順序を捉えることができるようになっている。
- 町たんけんが繰り返し登場し、対象を多様なものから施設、人へと変えていったり、調べたことを他者へ伝える活動を取り入れたりすることで、気付きの質が高まるように工夫されている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：音楽 種目：音楽

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
27 教芸	全	小学生の音楽	小原 光一 ほか17名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 巻頭に1年間の学習の見取図が示され、児童が学習の見通しをもつことができるように工夫されている。
- キャラクターの吹き出しの中に課題意識をもつことができるような問いかけや児童が思いや考えをもち学習のねらいの達成に向かうことができる内容が示され、意見交換できるようになっている。
- 「歌いつごう日本の歌」として童謡や唱歌が全学年を通して取り上げられており、自国の文化を歌い継いでいくことができるように配慮されている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：図画工作 種目：図画工作

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
9 開隆堂	全	図画工作	佐々木 達行 藤澤 英昭 柴田 和豊 ほか58名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 学習のめあてが、育成する資質・能力に合わせて三つ提示されており、どのめあてに重点的に取り組めばよいか分かりやすく示されている。
- 表現の方法や発想の視点が示され、何を働かせて自分らしさを発揮すればよいか分かるようになっている。
- 題材の扱い方や作品の見方を各学年の発達段階に応じて取り上げており、系統的に学ぶことができるようになっている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：家庭 種目：家庭

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
9 開隆堂	5・6	小学校 わたしたちの家庭科 5・6	鳴海 多恵子 石井 克枝 堀内 かおる ほか63名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 各題材の終わりに「生活に生かそう」のコーナーが設けられており、学習で身に付けた知識や技能等を生活に生かせるよう具体例が示されている。
- 各題材ごとに学習のめあてが示され、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。
- 持続可能な社会や消費者教育等、現代的な課題に関する幅広い視点が取り上げられている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：体育 種目：保健

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
2 東書	3～6	新しい保健	戸田 芳雄 ほか33名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 「手の洗い方」や「車の内輪差」等が動画で効果的に示され、児童の理解の助けとなっている。
- 悩んでいる友達への言葉かけや小さい子どもへの言葉かけなどのロールプレイが取り上げられ、実践につなぐことができるようになっている。
- 児童の気付きを促したり、課題解決につながったりする資料が充実しており、自主的な学習につながるよう配慮されている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：外国語 種目：英語

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
2 東書	5・6	NEW HORIZON Elementary English Course	アレン玉井光江 ほか62名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 児童が英語に親しみをもち、主体的に学習に取り組むことができるような構成になっていたり、カード等の具体物を使うことで表現活動を楽しんだりできるようになっている。
- 「Picture Dictionary」が別冊になっており、様々な単語や表現が内容や使用場面等で整理されているため、表現活動や家庭での自主的な学習の際に活用できるようになっている。
- QRコードにアクセスすることで、英語の音声に繰り返し親しむことができるようになっている。

令和2年度使用小学校教科用図書

教科：特別の教科 道徳 種目：道徳

下記の教科用図書を採択する。

記

発行者の 番号・略称	使用 学年	書 名	著 作 者
116 日文	全	小学道徳 生きる力	藤永 芳純 島 恒生 ほか46名

上記の教科用図書の特徴は下記のとおりである。

- 「学習の手引き」では学習の道筋が具体的に示されたり、道徳ノートでは授業展開によって様々な活用ができるようになったりしており、児童が多面的・多角的に考え、表現できるようになっている。
- 「考えてみよう」では、ねらいに迫る発問例が示されており、児童が自分との関わりで道徳的価値についての考えを深めやすいよう工夫されている。
- 学年の発達段階に応じた教材が適切に配置され、系統的に道徳的価値について学ぶことができるよう配慮されている。